

団体名 特定非営利活動法人NO BORDER (光市)

代表者名	松本 奈津美	団体の目的
構成員数	11人	子どもや障がいのある人達を中心に、より多く広い世代や環境に対し、イベントなど個人や団体が繋がる取り組みを中心に実行・研究し、子どもたちの平等な教育環境と、ボーダレスに向けた意識づくりに寄与する。
設立	2020年(R2年)3月	
問い合わせ先	no.border.kmo@gmail.com (松本)	

事業名 「手話ダンス」育成・発信事業～「手話」と「リズムダンス」を学ぶ～

事業の目的 ・手話やろう文化への理解、手話のスキルアップ、現代的なリズムダンスのスキルアップを組み合わせた「手話ダンス」のプログラムをすることで、道徳や芸術の視点も含めた思いやりの心と体を育て、ボーダレス意識や発信力のある人材育成に繋げる。

事業の内容 ・手話ダンス講座、発表会

開催日	場所	活動内容
9月12日	光市地域づくり支援センター	ダンスレッスン、手話レッスン
9月26日 10月3日	室積コミュニティセンター	手話ダンスレッスン
1月31日	室積コミュニティセンター	ダンスレッスン、手話レッスン
2月20日	光市地域づくり支援センター	手話ダンスレッスン
2月23日	スターピアくだまつ	発表会「みんなで踊ろう！手話ダンス」

- ・広報
手話うた動画・ホームページの作成、ホームページやSNSによる情報発信

事業の成果 ・講座や発表会等を通じて交流の輪が生まれ、参加者同士の障害に対する意識のボーダレス化に繋げることができた。
・発表会で多くの人に活動を知ってもらうことができ達成感が増した。

活動現場レポート

「手話ダンス」育成・発信事業～「手話」と「リズムダンス」を学ぶ～

〈R2.9.12/光市地域づくり支援センター〉

この日は、イベントに応募した近隣の小学生と父兄45人を対象に、ダンス講師からリズムダンスを学ぶ「ダンス講座」と、ろうの講師・通訳者から手話を学ぶ「手話講座」が開催されました。

「ダンス講座」では、「ハピネス」に合わせてフレーズごとに繰り返しレッスンを重ね、子どもたちは飲みこみがよく、しばらくするとひととおり踊れるようになっていました。蒸し暑い中、誰もリタイアせず一生懸命レッスンを受けられていました。

「手話講座」では、「手話うた」の動画を見ながら、講師が「ハピネス」の歌を手話で披露し、参加者がそれに倣って手指を動かすかたちで進められ、皆さん熱心に学ばれていました。



ダンス講座



手話講座